

# 灘五郷の酒造に使用される名水『宮水』 流域での地下掘削工事の施工報告

The report on the excavation work in the area of Miyamizu, famous for its water used for Sake produced by a local brewery, Nada-gogo

▶キーワード：地下工事，地下水，山留

上月浩一\*  
仲野晋介\*

\*西日本（支）西宮北口（出）

## 概要

（仮称）西宮北口計画新築工事は、『宮水』流域の上流部となる阪急電鉄西宮北口駅南側での地下工事を有する民間共同住宅の施工であった。

『宮水』は六甲山から流下している浅層地下水であり、日本一の日本酒主産地である灘五郷の酒造に欠かせない名水として知られている。多くの酒造メーカーが使用しており、『宮水』流域での地下工事では宮水の水量・水質を保全する計画、検討および地下水の状況を確認しながらの施工が必要とされる。

また、現場近傍の施工実績においては、芸術文化センター（大成建設（株）施工）の地下7.5 mが最深であり、この地域では前例のない地下9.4 mの計画であった。

本施工報告では、『宮水』流域での地下水保護というテーマのもと、山留・揚水・地下水流動阻害防止の工法選定の検討や施工結果について報告する。

## 成果

- 構造変更により掘削深さを浅くすることで、地下水保護に対する適切な山留計画と対策を行った。
- 施工においてもディープウェルの揚水量の目標値を達成し、宮水の水量・水質へ影響を最低限に抑えた。
- 透水管を設置することにより宮水の水みちを確保し、建物完成後の地下水流動阻害対策を行った。
- 宮水の水量・水質の保全を行いながら施工することで、灘五郷酒造へ影響を与えることなく『宮水』流域での地下工事を完了させることができた。

